



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月5日

上場会社名 福山通運株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9075 URL <http://www.fukutsu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 小丸 成洋
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務統括部長 (氏名) 佐藤 義宏 TEL 084-924-2000
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 2020年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	138,431	△4.5	9,476	△15.5	10,042	△14.3	6,663	△8.3
2020年3月期第2四半期	144,885	4.5	11,211	15.8	11,716	8.5	7,268	△2.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 10,027百万円 (25.9%) 2020年3月期第2四半期 7,967百万円 (△20.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	135.68	—
2020年3月期第2四半期	145.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	456,698	262,704	56.7	5,302.69
2020年3月期	448,329	256,138	56.3	5,109.31

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 258,961百万円 2020年3月期 252,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	25.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	280,700	△4.2	17,900	△12.9	18,900	△13.5	12,400	△4.0	252.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	55,770,363株	2020年3月期	55,770,363株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	6,934,438株	2020年3月期	6,353,271株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	49,113,162株	2020年3月期2Q	49,995,261株

※株式付与E S O P信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数（四半期累計）の計算において控除する自己株式に含めております（2020年3月期2Q152,873株、2021年3月期2Q152,092株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は2020年11月11日（水）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症の影響下において、5月の緊急事態宣言解除以降は、段階的に経済活動が再開しましたが本格的な回復には至らず、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

貨物自動車運送業界におきましては、新型コロナウイルス感染症に起因する生活様式の変化はeコマースの流れをさらに加速させ、個人宛荷物については増加するなど、一時的な回復傾向が見られたものの、個人消費、設備投資をはじめ経済活動全般が停滞し貨物輸送量は低調に推移いたしました。

このような状況のもと当社グループにおきましては、各事業において営業施策の推進により新たな取引先の拡大を図るとともに、主力事業である運送事業におきましては、8月に新運賃の届け出を行い、運賃の見える化と事務作業の合理化を進めてまいりました。

以上の結果、売上高は1,384億31百万円（前年同四半期比4.5%減）、営業利益は94億76百万円（前年同四半期比15.5%減）、経常利益は100億42百万円（前年同四半期比14.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は66億63百万円（前年同四半期比8.3%減）となりました。

これらをセグメント別に見た事業の概況は次のとおりであります。

運送事業におきましては、配送ルートや構内作業の見直しによる一層の自社化を推進し、生産性の向上に取り組んでまいりましたが、企業間物流における輸送物量が減少するなか、低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は1,216億91百万円（前年同四半期比4.8%減）、営業利益は85億6百万円（前年同四半期比17.8%減）となりました。

流通加工事業におきましては、昨年度開設した浜松西営業所、一宮支店に加え、6月に開設した前橋支店の増床により営業力を強化してまいりました。また、既存施設におきましても、料金改定による収支改善と多様化する顧客ニーズに応える提案を行い、稼働率向上に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は92億21百万円（前年同四半期比5.7%増）、営業利益は15億67百万円（前年同四半期比22.9%増）となりました。

国際事業におきましては、主要顧客の輸入取扱物量の増加に伴い、通関事業の取扱い件数は増加しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた海外での運送事業は大幅に減少いたしました。

以上の結果、売上高は37億23百万円（前年同四半期比14.9%減）、営業利益は1億26百万円（前年同四半期比49.0%減）となりました。

その他事業におきましては、外出自粛に伴う一部の商品販売は増加しましたが、総じて物品販売事業が振るわず低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は37億95百万円（前年同四半期比4.1%減）、営業利益は11億28百万円（前年同四半期比16.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて83億68百万円増加し4,566億98百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加により流動資産が34億52百万円増加したことや、投資有価証券の時価評価により投資その他の資産が増加し、固定資産が49億16百万円増加したことによります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて18億2百万円増加し1,939億94百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金や賞与引当金が減少したことなどにより流動負債が70億91百万円減少しましたが、長期借入金が増加したことにより固定負債が88億94百万円増加したことによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて65億65百万円増加し2,627億4百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加により株主資本が32億16百万円増加したことや、その他の包括利益累計額が32億58百万円増加したことによります。

(キャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ56億70百万円増加し305億97百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

主に法人税等や仕入債務の支払により資金が減少しましたが、税金等調整前四半期純利益の計上や売上債権の減少により138億69百万円の資金収入(前年同期は120億58百万円の資金収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主に有形固定資産の取得による支出により95億91百万円の資金支出(前年同期は180億67百万円の資金支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

主に自己株式の取得による支出により資金が減少しましたが、長期借入による収入により14億23百万円の資金収入(前年同期は15億51百万円の資金収入)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、経済活動は段階的な再開もあり景況感の悪化には歯止めがかかり回復基調にはなつたものの、依然として新型コロナウイルス感染症の終息時期は見えず、完全な回復には相当な時間を要するものと予想されます。

貨物自動車運送業界におきましては、生活様式の変化に伴う個人宛荷物の増加や経済活動再開に伴う荷動きが部分的に見られましたものの、引き続き厳しい経営環境が続くものと懸念されています。

こうしたなか当社グループにおきましては、運送事業では、引き続き配送ルートや構内作業の見直しによる一層の自社化を推進し、生産性の向上に取り組んでまいります。また流通加工事業及び国際事業との連携をより強化し、営業力の強化を図るなど、各事業の生産性及び収益性を重視し、付加価値の高いサービスの提供に努めてまいります。

以上により、連結業績予想につきましては、2020年8月6日の「2021年3月期 第1四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	280,500	17,000	18,000	12,200	251.11
今回修正予想(B)	280,700	17,900	18,900	12,400	252.73
増減額(B-A)	200	900	900	200	—

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,201	31,854
受取手形及び売掛金	40,490	37,664
その他	3,320	3,980
貸倒引当金	△93	△128
流動資産合計	69,919	73,371
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	250,370	252,675
減価償却累計額	△159,053	△161,628
建物及び構築物(純額)	91,316	91,046
機械装置及び運搬具	101,280	104,134
減価償却累計額	△80,327	△83,632
機械装置及び運搬具(純額)	20,952	20,501
工具、器具及び備品	14,458	14,732
減価償却累計額	△11,827	△12,059
工具、器具及び備品(純額)	2,630	2,672
土地	208,234	210,086
建設仮勘定	3,351	2,641
有形固定資産合計	326,486	326,949
無形固定資産		
その他	4,491	4,683
無形固定資産合計	4,491	4,683
投資その他の資産		
投資有価証券	41,289	45,433
繰延税金資産	3,367	3,409
その他	2,941	3,007
貸倒引当金	△166	△155
投資その他の資産合計	47,432	51,694
固定資産合計	378,410	383,327
資産合計	448,329	456,698

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,798	14,374
短期借入金	14,798	14,777
1年内返済予定の長期借入金	21,114	18,852
リース債務	26	26
未払法人税等	3,603	3,580
未払消費税等	3,474	2,977
賞与引当金	4,806	4,179
その他	15,812	14,574
流動負債合計	80,434	73,342
固定負債		
長期借入金	56,072	63,178
リース債務	48	38
繰延税金負債	6,795	8,515
再評価に係る繰延税金負債	23,688	23,685
退職給付に係る負債	23,593	23,667
関係会社事業損失引当金	87	55
資産除去債務	506	509
その他	966	1,002
固定負債合計	111,757	120,652
負債合計	192,191	193,994
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,310	30,310
資本剰余金	39,257	39,264
利益剰余金	155,094	160,524
自己株式	△19,562	△21,783
株主資本合計	205,099	208,315
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,029	17,203
土地再評価差額金	34,411	34,405
為替換算調整勘定	△9	△18
退職給付に係る調整累計額	△1,043	△943
その他の包括利益累計額合計	47,387	50,646
非支配株主持分	3,650	3,742
純資産合計	256,138	262,704
負債純資産合計	448,329	456,698

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	144,885	138,431
売上原価	129,467	125,280
売上総利益	15,417	13,150
販売費及び一般管理費	4,205	3,674
営業利益	11,211	9,476
営業外収益		
受取配当金	623	627
補助金収入	208	34
その他	380	202
営業外収益合計	1,212	864
営業外費用		
支払利息	110	108
災害復旧費用	464	134
その他	132	54
営業外費用合計	707	298
経常利益	11,716	10,042
特別利益		
固定資産売却益	121	31
投資有価証券売却益	—	346
関係会社事業損失引当金戻入額	26	32
受取和解金	122	—
特別利益合計	270	410
特別損失		
固定資産売却損	—	5
固定資産除却損	91	119
投資有価証券評価損	—	276
役員弔慰金	1,000	—
和解金	48	—
貸倒引当金繰入額	—	9
特別損失合計	1,139	410
税金等調整前四半期純利益	10,847	10,042
法人税、住民税及び事業税	3,326	3,201
法人税等調整額	158	133
法人税等合計	3,485	3,335
四半期純利益	7,362	6,706
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,268	6,663
非支配株主に帰属する四半期純利益	93	42
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	554	3,251
為替換算調整勘定	△33	△30
退職給付に係る調整額	84	99
その他の包括利益合計	605	3,320
四半期包括利益	7,967	10,027
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,946	9,928
非支配株主に係る四半期包括利益	20	98

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,847	10,042
減価償却費	7,660	7,560
引当金の増減額(△は減少)	△478	△635
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	335	217
未払費用の増減額(△は減少)	△1,822	136
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,173	△496
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△346
役員弔慰金	1,000	—
その他	△1,502	95
小計	14,865	16,573
利息の支払額	△111	△108
利息及び配当金の受取額	625	629
役員弔慰金の支払額	△1,000	—
法人税等の支払額	△4,072	△3,235
収用補償金の受取額	1,751	9
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,058	13,869
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,350	△9,635
有形固定資産の売却による収入	154	66
投資有価証券の取得による支出	△401	△85
投資有価証券の売却による収入	—	760
定期預金の預入による支出	△753	△763
定期預金の払戻による収入	754	771
その他	△471	△706
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,067	△9,591
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	28,599	40,810
借入金の返済による支出	△23,756	△35,914
配当金の支払額	△1,518	△1,248
自己株式の取得による支出	△1,763	△2,223
その他	△9	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,551	1,423
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33	△30
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,491	5,670
現金及び現金同等物の期首残高	26,742	24,926
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,251	30,597

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	運送事業	流通加工 事業	国際事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	127,828	8,726	4,373	140,928	3,956	144,885
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	4,176	4,176
計	127,828	8,726	4,373	140,928	8,133	149,062
セグメント利益	10,342	1,275	247	11,864	1,347	13,212

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸業、物品販売事業及び労働者派遣業(委託業務)等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	11,864
「その他」の区分の利益	1,347
全社費用(注)	△2,000
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	11,211

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない広告宣伝費及び各連結会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	運送事業	流通加工 事業	国際事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	121,691	9,221	3,723	134,636	3,795	138,431
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	3,900	3,900
計	121,691	9,221	3,723	134,636	7,695	142,331
セグメント利益	8,506	1,567	126	10,200	1,128	11,329

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸業、物品販売事業及び労働者派遣業(委託業務)等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,200
「その他」の区分の利益	1,128
全社費用(注)	△1,852
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	9,476

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない広告宣伝費及び各連結会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。